



ほ う な い

「思い通りにならない苦勞」をたくさんしよう

校長 見原 仁

学校では、いろいろなトラブル、思い通りにならないことが起きます。勉強がよくわからない、友達と言い合いになった等々。先生に尋ねたり、話したりして、解決する子どもが多いと思います。

トラブルが無ければよい、無くそうと考えるのは当然です。しかし、私は、それだけではたりないと考えます。そもそも、私たちが生活する日常でもトラブルは必ず起きます。全てのトラブルを回避することは不可能です。だから、子どものうちに、トラブルが起きた時の対処法を身に付けることが重要だと考えています。

トラブルの対処は、本を読んだり話を聞いたりすれば学べるものではありません。経験を積み重ねて学んでいくものです。なぜなら、トラブルには相手がいて、その相手や相手の状況によって対応が異なるからです。自分の意と異なる反応をする、自分にとって嫌がることを言う等内容は様々。しかも、相手は自分にとって何が気に障るのかを理解していないことがほとんどです。

こんな時、教職員は子どもたちに「何が嫌だったのか。悪いことはしていないか。どうすればよかったか。次に同じことがあったらどうするか。」を必ず聞きます。

この指導の繰り返しの中で、子どもたちはトラブルにどう対処すればよいかを学んでいきます。特に「どうすればよかったか」です。1回でできるようになる子どもはいません。何回も何回も経験を重ねて、ようやく少しずつ対処法を身に付けていきます。そして、子どもは自信をもつようになっていきます。教職員は、粘り強く何度もこの対応を重ねています。子どもはたくさんいますから、ほぼ毎日と言っていいでしょう。

標題の『「思い通りにならない苦勞」をたくさんしよう』という言葉は、「子ども六法」を書いた、山崎総一郎さんの著書「10代の君に伝えたい 学校で悩む君に僕が見つけた未来を切りひらく思考」に書かれている言葉です。一部を紹介します。

「学校は、いろいろな考え方や興味関心を持った子どもが集まってくるので、気の合う人もいれば、そうじゃない人もいます。その中で、みんな一緒に学校生活を送るわけですから、当然、苦勞もする。ぼくはそこに、学校に行く一番の意味があると感じています。」

また、「OECD（経済協力開発機構）ラーニング・コンパス（学びの羅針盤）2030」には、より良い未来の創造に向けた変革を起こすコンピテンシー（能力）として、以下の3つを示しています。

・新たな価値を創造する力 ・責任ある行動をとる力 ・対立やジレンマに対処する力
3つ目に示されている「対立やジレンマに対処する力」が、上記のトラブルの対処に結びつきます。

子どものトラブルは決して悪いことばかりではありません。対処法を学ぶとともに、「他人の気持ちや言葉をわかる経験」になるのです。ある心理カウンセラーは「人は自分自身が『体験』したものしか本当にはわからない」と語っています。

思い通りにならない苦勞は、自分を成長させる機会になるのです。

第10号
村上市立保内小学校
強い力 豊かな心
〒959-3107
村上市下鍛冶屋 264-2
TEL 0254-62-2302
FAX 0254-62-5553
school@honaiemurakami.ed.jp

大谷選手グローブ贈呈式



アメリカのメジャーリーグに所属する大谷翔平選手から、保内小学校にもグローブが届きました。1月18日（木）に、贈呈式を行いました。はじめに、校長先生が大谷翔平選手からのメッセージを含めて子どもたちにグローブを紹介しました。その後、ミニ大谷選手が登場し、代表児童3名にグローブを渡しました。代表児童はグローブを手にし、これからの野球への思いを語りました。

翌日から、全学級の子どもたちにグローブを触ってもらいました。子どもたちは大喜び。大谷選手の「野球しようぜ。」のメッセージのとおり、野球に親しむ子どもが増えてほしいと思います。

避難訓練を行いました



1月16日（火）昼休みに、火災を想定した避難訓練を行いました。昼休みに行ったため、子どもたちの避難に混乱があるのでは、と想定していましたが、放送の聞き方がとても良く、体育館へ整然と避難することができました。ただ、体育館に来てからは話し声が聞こえました。校長先生は、このことについて「急に避難場所が変わるかもしれません。体育館に集まっても静かにしましょう。そして、日頃から先生の話をよく聞くようにしましょう。」と話しました。子どもたちは、教室へ戻るとき大変静かに移動していました。

災害はいつ起こるか分かりません。子どもたちの指導はもちろん、先日の能登半島地震を受け、全職員で安全な避難場所はどこか、また、場に応じた避難指示ができるように確認しました。

学校給食週間

1月22日（月）～26日（金）は給食週間でした。メニューは「2024 オリンピックイヤー 一流アスリートのふるさと味めぐり」という村上市統一テーマで、新発田市、岩手県、兵庫県、北海道、村上市の特産を取り入れたメニューでした。

また、調理員さんへ全員が感謝の寄せ書きを書いて各学級でまとめ、調理員さんが見やすい場所に掲示しました。子どもたち一人一人の感謝の思いが記されていました。



右上の写真は、村上市の特産を取り入れた献立です。特に「村上牛とやわ肌ねぎのしぐれ煮」がとてもおいしかったです。

どんな言葉を使ったら気持ちよく過ごせるかな？～ハートフル集会～



1月18日（木）に、児童会の運営委員会がハートフル集会を行いました。

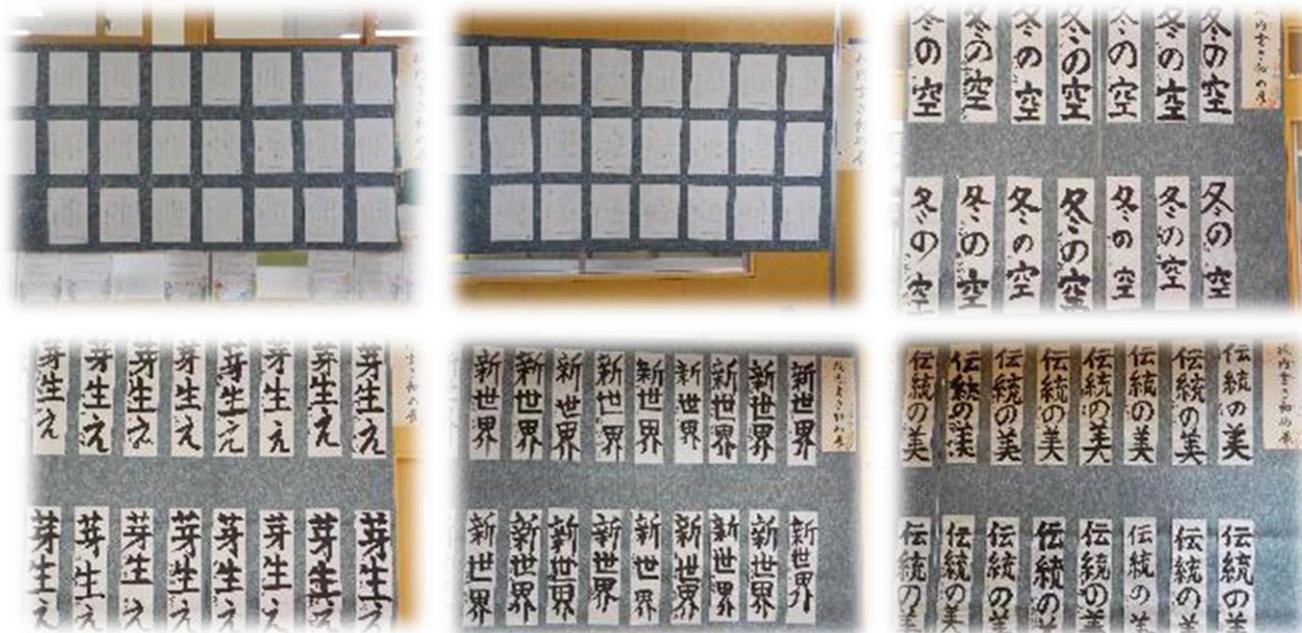
この集会の目的は「いじめや差別につながる言動について考え、一人一人が相手の立場を考えて行動する。また、いじめをしない、見逃さない、許さない意識を高める。」です。

運営委員会が、いじめや差別ととらえられる言葉が聞かれる3つの場面を演じました。そして、それぞれの場面について、どのように言えばよかったかをキッズチーム（縦割り班）で考えました。子どもたちは「『ドンマイ』って言えばいい。」「『どうしたの?』と聞いてあげればいい。」など、6年生の司会のもとで、意見を出し合っていました。

このようにキッズチームで話し合うことは久しぶりの体験です。なかなか意見が出ない班もありましたが、6年生や担当の先生が上手に子どもたちの言葉を引き出していました。

その後、教室に戻って各自が振り返りを行いました。これからはいじめをしない、見逃さない、許さない意識の醸成に努めてまいります。

校内書き初め展を行っています



2学期末から冬休みも含め、練習を重ねてきた書き初め。その中からよくできたものを選び掲示しました。心を落ち着かせ、静かな中で筆を動かす子どもたちは、真剣そのものでした。

子どもたちの力作が、各学級廊下に掲示されています。2月9日（金）まで展示しています。いつでも来校いただきご覧ください。2月8日（木）は学習参観です。その際にご覧いただいても構いません。なお、地域の方々もお越しいただきご覧いただければと思います。ご来校の際は、職員室へ一声掛けてから、ご覧いただきたいと思います。

薬物乱用防止教室を行いました



6年生が、1月24日（水）に村上警察署生活安全課関口課長様から、薬物について教えていただきました。薬物とは何か、薬物を使うとどんな悪影響があるのか等々、具体的にお話いただきました。6年生は真剣に話を聞き、熱心にメモを取っていました。いろいろな手口で、若者を薬物に誘い込もうとすることも教えていただきました。絶対に薬物に手を出してはいけません。その気持ちを強くもつことができました。